

# インターネットにおけるセキュリティの現状と動向

01009380 富士通研究所 \*伊藤裕康 ITOH Hiroyasu

hitoh@flab.fujitsu.co.jp

Tel:046-250-8282 Fax:046-248-5192

## 1. はじめに

この報告は、セキュリティ技術及びインターネットコマースの全体的な流れにおいて、業界、学会、政府が取り組むべき領域・課題は何か、そして、どんな技術が必要になるか、その実用化のためにはなにをすべきかという視点から、検討したものである。

## 2. インターネットセキュリティ技術の現状と課題及び展望

インターネットセキュリティ技術を、アクセス制御によるサイトセキュリティ、暗号・認証・課金・決済方式によるネットワークセキュリティ、著作権保護とコンテンツ保全によるメディアセキュリティに分類し、それぞれの現状、課題、展望を分析する。今後の展望としては、インターネットの商業利用の急激な拡大とともに、ネットワーク上のオンライン取引のための安全で効率的な電子決済手段の構築が必要になってくる。既に、銀行や企業などが、SET, CyberCash, ecash, MONDEX など、さまざまな実験プロジェクトを実用化段階にこぎつけようとしているが、サービス・利用形態によるセキュリティ技術要件を満足するホスティングインフラ機構の構築だけでなく、インターネット電子決済が本格的な実用に耐えるためのルール、即ち、サイバー法なるものの必要性が益々増大してくる。

### セキュリティ側面からの現状／将来技術フレームワーク

